

教育委員会

教育総務室

組織の目的と役割

教育総務室

組織の目的(どのような価値を提供するのか)

教育行政が公正かつ適正に運営されるよう、適切な情報提供や委員研修の充実、また、その権限に属する事務の執行状況の点検評価など、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」に基づく、教育委員会活動の充実を図る。

価値を提供する上で、解決すべき課題

迅速で有効な情報の収集及び教育委員への提供、市民への情報発信
教育行政全般に関する検証改善サイクル(PDCA)の確立

組織が担う施策とその役割

施策の柱	施策名	役割	役割の内容
教育委員会活動の充実と、公正かつ適正で安定した教育行政の推進	教育委員会活動の充実	主体的に	教育行政に関する現状と課題を明確にし、方針決定に資する適切な資料を教育委員会に対して提供する。
		協働して	教育行政の効果が高まるよう、教育委員会の事務事業の点検及び評価を、外部評価委員とともに実施する。
		支援的に	教育や文化の向上・振興に寄与することを目的とした事業の実施主体による申請に対し、教育委員会の後援名義を交付し、事業を支援する。

組織の資源と活用

教育総務室

組織として持っている主な資源

人・ネットワーク	技術・知識	情報	もの	計画
教育委員、教育委員会協議会(担当課による情報提供等)、大学等の高等教育機関、周辺教育委員会事務局、社会教育関係団体	教育委員会に関すること 教育関係法令に関すること	教育委員会に関すること 事務の点検・評価報告書	教育委員会室、教育長室、コピー機、FAX、電話機	教育計画

市民・地域団体・市民団体・事業者・事業者団体等によるまちづくりの取組みに関する情報

資源を踏まえ行動指針から課題と考えること、その解決策

行動指針	課題	解決策
多様性ある	市民の意向や教育現場の状況把握	学校視察・施設訪問の実施、教育委員研修の充実
顔が見える	保護者や教育現場との交流	教育現場との懇談の実施、市民への情報発信
協働する	保護者・地域・学識者との交流・連携 市長部局との連携	意見交換会の開催
挑戦する	教育理念の実現	教育委員の意見をより反映した年度ごとの教育計画の策定
創造する	長期的な目標	教育委員や外部有識者の意見を反映した教育基本計画の策定
持続する	公正で安定した教育行政	PDCAサイクルによる事務の点検評価と、それを活用した教育計画の作成

課の資源を有効に活用するために取り組むこと

情報の視点 (収集、提供)	全国や大阪府などの各教育長協議会を通じて、国・府の動向を把握し、重要な新着情報を庁内に伝達する。また、教育委員には大学教授、会社役員、弁護士など多方面の有識者が就任しており、各委員の専門的な意見が反映できるよう委員会機能を充実させる。
学びの視点 (育成、機会)	教育委員長が摂南大学教授であり、また同大学とは包括連携協定を締結していることから、職員が大学の専門知識を学べる機会を創出する。
広域的視点 (他との連携)	全国や大阪府をはじめ、北河内の各教育長協議会を通じて、広域的な情報交換ができ、新たな事業展開の方向性を探る。
場づくり	部課を超えたプロジェクトを取り組むための場の設定を行うこともできる。

施策名		教育委員会活動の充実						
部課等名	教育総務室							
“かたのサイズ” をめざす像 (主要3つ)	子どもたちが、しっかりとした基礎学力を身につけている 地域や学校、家庭が協力して、子どもの健やかな成長を支えている いつでも身近なところで学びや活動、体験ができる							
現状と課題 (上記を踏まえ)	教育委員会定例会を年12回及び臨時会を数回開催するため、事務局において調整し、教育行政の基本的な施策の決定を行っている。 毎年度、教育委員会では教育施策を立案し、その取り組み結果等について事務事業の自己点検・評価報告書を作成し、成果と課題を明らかにするとともに、次年度以降の教育施策にできるだけ反映させ、様々な教育課題に適切に対応する必要がある。							
施策の目的 (提供する価値)	教育理念の実現に向けて、教育委員会としての意思決定を行うための、企画・立案などを行う。 ①子どもの基礎学力の向上②整った教育環境③地域に開かれた学校環境 ④子どもの国際感覚育成⑤整備された生涯学習基盤							
施策の目標 (3年後の状態)	中長期ビジョンをもとに、各年度の教育施策と事務事業の点検・評価がうまく連動し、事務局機能が今以上に活性化している。重点項目としては、校区ごとの地域特性を踏まえて、学校園・家庭・地域の3者が協働により教育コミュニティ活動をより一層充実するための施策に取り組んでいる。							
財源見込み	国の負担 (0 千円)			大阪府の負担 (0 千円)				
事業名	事業概要	実施形態	位置付け	H25 評価	アウトプット 指標	H25 実績	H27 目標	H27 予算額 H26 予算額
1 委員活動支援	委員会・研修会等の調整	直	選択	—	定例会の開催 夏季研修会	12回 1回	12回 1回	事務事業共通経費に含む
2 教育計画及び点検評価	計画及び評価報告書の作成	直委	法定	A	教育計画 事務事業評価	1回 1回	1回 1回	事務事業共通経費に含む
3 後援名義の使用承認、賞状交付	申請によって名義・賞状を付与する	直	選択	—	後援名義 賞状下付	41件 2件	随時	事務事業共通経費に含む

学校視察



